

## ◆◆ 少年非行状況 ◆◆

平成29年1月～8月末までの補導状況（敦賀警察署管内）

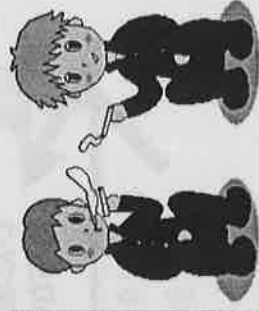
	飲酒	喫煙	粗暴行為	金品不正要求	金品持ち出し	暴走行為	家出	無断外泊	深夜はいかい	総学	不健全的行爲	不健全娛樂	合計
H29	2	37	6	0	0	0	3	3	61	1	0	1	114
前年同期との比較	-3	+12	-2	-1	-1	-1	-8	+3	+27	+1	-1	-4	+22

## ～1学期を振り返って～

今年はず年に比べて、喫煙と深夜はいかいで補導される少年が大幅に増加！

### 特徴

- ・特に高校生と有職少年が増加（17歳～18歳）
- ・今年、「喫煙」で補導された少年は全員が男子
- ・「深夜はいかい」で補導される主な場所は  
ゲームセンター、コンビニ周辺、帰宅途中の路上等



「敦賀祭り」の帰り道、深夜はいかいで補導された少年の保護者に連絡したところ・・・



「家に帰っているところだったんだからいいですよ。」

喫煙で繰り返す補導されている少年の保護者に連絡したところ・・・



またですか。あまり吸わないよには言っているんですけど。

なぜ、その行為が「不良行為」として補導の対象となっているのか？  
保護者連絡の際には、保護者にも「社会のルール」を伝えていくところです。

## スクールサポーターの独り言

私が自転車をはじめたのは二十数年前のことである。その頃の私は、教師としてこの先をあれこれと悩んでいた。今から思えば人生の分岐点だったと思う。人生、進む道は多種多様。分岐点もそこかしこにあると思う。それからの私は、夏休みを利用して日本海を北上し青森県を、翌年には山口県へという具合に、あつという間に日本海を縦断した。そして、北海道へ。澄み渡る青空、雄大な景色をみながら、どこまでも真つすぐに伸びる道をひた走る。その爽快感は、決して他の場所では味わえない。果てしなく続く海岸線を眺め、壮大な山並みを仰いでいると、自分がちっぽけな存在に思えてくる。しかし、同時に言葉では言い表せない達成感に包まれる。自分だけを信じ、自分の力だけを頼りにここまでやってきたのだから。

何かを始めれば、何かが変わる。私はそれを自転車を通して実感した。自転車に乗り始めてから、びっくりするほど中身の濃い時間を過ごしてきた。いろんな所に行き、仲間と出会い、かなりの時間をサドルの上で過ごした。私の自転車生活はこれからも続いていく。なぜなら、毎日が楽しいからだ。楽しく乗る、楽しく走る。走らなくても自転車を楽しむ。素晴らしい自転車生活に心から感謝したい。自転車に出会えて、本当に良かった。